

教育プログラム・コースの概要

大学名等	名城大学大学院薬学研究科						
教育プログラム・コース名	次世代がん治療「薬学」コース（正規課程）						
対象職種・分野	薬剤師						
修業年限（期間）	大学院薬学研究科博士課程 4年						
養成すべき人材像	<ul style="list-style-type: none"> ・大学院薬学研究科博士課程で薬学を学び、学位取得後は地域に定着してチーム医療の中で集学的な治療・ケアなど患者のQOL向上や終末期医療を担う薬剤師。 ・本コースで臨床腫瘍学を系統的に学び、腫瘍循環器学、腫瘍腎臓病学、老年腫瘍学等の学際領域にも対応できる薬剤師。 						
修了要件・履修方法	<p>次に定める方法により授業科目を履修し、4年間で30単位以上を修得する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・専修科目 4単位(必須)：専修分野の特論から1科目(30回受講) ・専修あるいは関連科目 6単位(選択必修)： <ul style="list-style-type: none"> 2科目以上(関連科目：15回受講、各2単位)。 ※専修分野の特論と専修科目と合わせて3科目、10単位以上必ず履修 ※一定のテーマにそった連続講義で構成される学内教育プログラム ※本コース履修者は「次世代がん治療コース(がん薬物療法学)」必修 ・特殊研究Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ(各5単位4年間：20単位必須) 						
履修科目等	<ul style="list-style-type: none"> ・専修分野：環境衛生科学・病態解析科学・薬物動態科学・医療情報科学・薬物治療科学特論より選択 ・関連科目：臨床薬学研修・海外臨床研修、医療英語・臨床腫瘍学・次世代がん治療開発コース(がん薬物療法学) ※本コース受講者必修 						
がんに関する専門資格との連携	<p>参画施設である名古屋大はがん専門薬剤師(医療薬学会)、緩和医療専門薬剤師(緩和医療薬学会)、がん薬物療法認定薬剤師(病院薬剤師会)、愛知医科大はがん指導薬剤師(医療薬学会)、緩和薬物療法認定薬剤師(緩和医療薬学会)、藤田医科大はがん専門薬剤師(医療薬学会)、がん薬物療法認定薬剤師(病院薬剤師会)、緩和薬物療法認定薬剤師(緩和医療薬学会)の教育機関としてそれぞれ認定。</p>						
教育内容の特色等 (新規性・独創性等)	<ul style="list-style-type: none"> ・大学院博士課程で学位研究を行いながらも、学位取得後は臨床現場でがん医療を担う薬剤師を対象とするコースである。 ・第2期がんプロで設置してその後継続してきたがん薬物療法特論を大幅に見直し、多職種チーム医療による集学的な治療・ケア、緩和医療・終末期医療、循環器腫瘍学、腫瘍腎臓病学、老年腫瘍学など学際領域に加え、分子標的薬やコンパニオン診断薬、CAR-T療法や免疫チェックポイント阻害薬等の免疫療法に関する治療学を発展的に取り入れ系統的に学習できるように再編成して「次世代がん治療」コースとして拡充する。 ・臨床研究・教育機関として新たな治療法を開発する人材養成の環境が整備されている。 						
指導体制	<ul style="list-style-type: none"> ・本事業の担当教員ならびに学外招聘教員によるオンパス講義を行う。 ・本事業に特化した履修記録管理システム(電子ポートフォリオ)を用いて学習記録を蓄積するとともに、他の学生や指導教員と地理的条件を超えてその学びを共有する。 						
修了者の進路・キャリアパス	<p>病院内のチーム医療や地域の保険薬局に所属して、集学的な治療・ケアなどがん患者のQOL向上や終末期医療を担う薬剤師。ゲム情報に基づく最新のがん個別化医療や学際領域に精通する薬剤師。</p>						
受入開始時期	令和6年4月						
受入目標人数 ※当該年度に「新たに」入学する人数を記載。 ※新規に設置したコースに限	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	計
		2	2	2	2	2	10
受入目標人数設定の考え方・根拠	<p>過去5年間、薬物治療科学や病態解析科学などの分野に5～6名入学しており、そのうち本コースを希望する学生コースを考慮して受入目標を毎年度2名に設定。</p>						